

厚生労働大臣 長 妻 昭 殿

徳島大学病院長 香川

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	38.9	人
--------	------	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	173人	198人	328.9人	看護業務補助	29人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	91人	61人	136.1人	理学療法士	7人	臨床検査技師	48人
薬剤師	22人	18人	40.0人	作業療法士	6人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	29人	1人	29.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	405人	31人	43.1人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	3人	6人	6.0人	栄養士	1人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	7人	5人	10.8人	歯科技工士	6人	事務職員	109人
管理栄養士	6人	3人	8.3人	診療放射線技師	36人	その他の職員	1人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	529.4 人	19.2 人	548.6 人
1日当たり平均外来患者数	1217.2 人	434.4 人	1651.6 人
1日当たり平均調剤数	入院 284.2	外来 407.5	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯患部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤体制遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	17人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症にかかるものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋・顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄筋萎縮症、家族制筋萎縮症側索硬化症、家族性低カリウム血症周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍にかかる膵体尾部切除術又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤体制遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎地位看板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり、保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血管細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症にかかる遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	5人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニケルトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプリテン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィ遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規程に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1)疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型傷害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)傷害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状のもの(器質的疾患に起因するうつ症状のものを除く)に係るものに限る。))	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺種(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部両性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MBA)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
---------------------------	--------------------------------------	----

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	113人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	12人
・多発性硬化症	66人	・ウェゲナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	75人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	1人
・全身性エリテマトーデス	139人	・多系統萎縮症	31人
・スモン	11人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人
・再生不良性貧血	58人	・膿疱性乾癬	10人
・サルコイドーシス	77人	・広範脊柱管狭窄症	27人
・筋萎縮性側索硬化症	61人	・原発性胆汁性肝硬変	30人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	5人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	95人	・特発性大腿骨頭壊死症	8人
・結節性動脈周囲炎	11人	・混合性結合組織病	25人
・潰瘍性大腸炎	145人	・原発性免疫不全症候群	8人
・大動脈炎症候群	42人	・特発性間質性肺炎	41人
・ピュルガー病	2人	・網膜色素変性症	18人
・天疱瘡	111人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	92人	・原発性肺高血圧症	14人
・クローン病	75人	・神経線維腫症	23人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	29人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	172人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	34人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	8人
・後縦靭帯骨化症	292人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	3人	合計	1990人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。	
	2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	33回	
剖検の状況	剖検症例数 32 例	剖検率 16.5 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Endothelin-1シグナルを標的とした非小細胞肺癌細胞の造骨性骨転移抑制	生田賢治	薬剤部	1,690,000	補委 文部科学省
エリスロポエチンの血管内皮前駆細胞動員作用を用いた新たな血管新生療法の開発	岩瀬 俊	内科	1,950,000	補委 文部科学省
ジストニア患者に対する深部脳刺激(DBS)による脳代謝変化	浅沼光太郎	内科	1,560,000	補委 文部科学省
統合失調症磁気共鳴イメージと磁気共鳴スペクトロスコピーによる研究	田吉伸哉	精神科神経科	1,170,000	補委 文部科学省
3T H-MRSと遺伝子解析を用いたOCDの多角的解析研究	中瀧理仁	精神科神経科	1,820,000	補委 文部科学省
3テスラ臨床MRI装置を用いた磁化率効果による子宮内膜症の描出能の検討	竹内麻由美	放射線科	1,820,000	補委 文部科学省
クロム工場労働者における肺がんの危険性因子の探索の研究	長尾妙子	外科	1,430,000	補委 文部科学省
歯髄組織のロバストネス強化による歯髄炎予防に関する研究	浅野将宏	歯科	2,080,000	補委 文部科学省
骨芽細胞様細胞への圧縮力により誘導されるHsp25の機能解析	長尾大輔	歯科	1,170,000	補委 文部科学省
顎関節雑音症例の診断法の考案-顎運動の観点からみて-	石川輝明	歯科	1,300,000	補委 文部科学省
超効率型CXCR4 siRNAを用いた口腔癌のリンパ節転移抑制療法の開発	内田大亮	歯科口腔外科	1,300,000	補委 文部科学省
ケモカインからみた歯周炎病変局所浸潤リンパ球の組織破壊への関与に対する研究	細川義隆	歯科	1,690,000	補委 文部科学省
歯周炎再発患者の唾液中に含まれるサイトカインの総合的解析	横山正明	歯科	1,560,000	補委 文部科学省
新規癌抗原OFA-iLRPを標的とした肺癌にたいする腫瘍特異的免疫療法の検討	阿部真治	薬剤部	2,340,000	補委 文部科学省
非小細胞肺癌のEGFR阻害剤に対する感受性予測法QUEENアッセイの臨床開発	柿内聡司	内科	1,820,000	補委 文部科学省
PDE4B遺伝子の統合失調症における遺伝子多型・画像・認知機能の多角的解析研究	沼田周助	精神科神経科	1,690,000	補委 文部科学省



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝再生制御因子としてのソニックヘッジホッグ発現機序の解明に関する研究	森根裕二	外科	1,690,000	補助委託 文部科学省
小腸移植におけるバクテリアルトランスロケーションの防止と小腸免疫システムの研究	東島 潤	外科	2,210,000	補助委託 文部科学省
SCIDマウス同所移植モデルを用いた肺癌・悪性胸膜中皮腫蛍光診断の検討	滝沢宏光	外科	3,640,000	補助委託 文部科学省
歯髄炎の病態形成における自然免疫機構の解明	高橋加奈子	歯科	2,730,000	補助委託 文部科学省
咀嚼運動時における顎関節空隙の診査方法の確立	薩摩登誉子	歯科	1,690,000	補助委託 文部科学省
姿勢センサを用いた歯科検査・治療支援機器(デンタルナビゲータ)の開発	石田雄一	歯科	1,430,000	補助委託 文部科学省
関節軟骨維持におけるマスピンの役割とDDSを利用した関節炎治療薬としての可能性	徳山麗子	歯科口腔外科	3,510,000	補助委託 文部科学省
特性遠赤外線照射による癌細胞増殖抑制効果の解析	細川浩良	歯科口腔外科	3,510,000	補助委託 文部科学省
細胞増殖因子徐放能を有する機能型 Scaffoldの開発と骨再生への検討	館原誠晃	歯科口腔外科	2,080,000	補助委託 文部科学省
顎関節におけるRANKL/Fasシグナルクロストークによる骨・軟骨破壊の制御	井澤 俊	矯正歯科	3,120,000	補助委託 文部科学省
歯と顎の大きさに関する遺伝的要因の分析	阿部洋子	小児歯科	780,000	補助委託 文部科学省
象牙質知覚過敏の発現と強度に及ぼす歯肉退縮とステロイド剤の影響(臨床疫学研究)	堀部ますみ	歯科	1,690,000	補助委託 文部科学省
オステオプロテジェリンを用いた歯周病の薬物療法の開発	美原智恵	歯科	2,340,000	補助委託 文部科学省
骨格系の制御システムと脂肪・血管制御系との関連およびその異常に基づく病態の解明	松本俊夫	内科	18,070,000	補助委託 文部科学省
骨置換性カーボネイトアパタイトによる顎骨再建と骨再生用スキャフォールドへの応用	宮本洋二	歯科口腔外科	4,030,000	補助委託 文部科学省
ヒト脱落乳歯歯髄幹細胞多能性および再生医療への可能性について	三留雅人	小児歯科	3,900,000	補助委託 文部科学省
動脈硬化進展の新規制御機構の同定と分子イメージング方への応用	佐田政隆	循環器内科	6,240,000	補助委託 文部科学省
脳動脈瘤形成におけるエストロゲンの作用とその分子生物学的機構	永廣信治	脳神経外科	5,330,000	補助委託 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨髄間質由来生体幹細胞の歯原性細胞への分化誘導と歯の再生医療への応用	里村一人	歯科口腔外科	5,590,000	補委 文部科学省
骨髄由来fibrocyteの遊走阻害:PDGFの役割と肺腺癌治療への展開	西岡安彦	内科	6,240,000	補委 文部科学省
脂肪肝グラフト部分肝移植における機能不全の解明と統合的治療法の開発	島田光生	外科	11,960,000	補委 文部科学省
延長仮骨の骨癒合促進法の開発	安井夏生	整形外科	11,960,000	補委 文部科学省
Leigh脳症をきたす新たなミトコンドリア機能異常症の解明とその治療法の確立	内藤悦雄	小児科	910,000	補委 文部科学省
C型ナトリウム利尿ペプチドを用いた難治性心筋炎の診断・治療法の開発	添木 武	循環器内科	1,820,000	補委 文部科学省
血管内皮機能を標的としたグルコシルコリン誘発性血管障害に対する新規治療法の開発	赤池雅史	循環器内科	1,690,000	補委 文部科学省
BMP/ALK/Smad1の解析による糸球体硬化症機構解明とバイオマーカーの同定	安部秀斉	腎臓内科	1,690,000	補委 文部科学省
新たな末梢血幹細胞動員法の開発に関する研究	渡辺浩良	小児科	1,040,000	補委 文部科学省
表皮角化細胞のエピジェネティクス制御とその機能異常	久保宜明	皮膚科	1,950,000	補委 文部科学省
ヒト毛包再生法の確立	荒瀬誠治	皮膚科	2,210,000	補委 文部科学省
バクテリアトランスロケーションのパラセラルートの解析と重傷度評価法の開発	栗田信浩	外科	2,210,000	補委 文部科学省
食道癌術前後栄養による免疫能の変化と抗腫瘍効果と術後病態への影響	丹黒 章	外科	1,170,000	補委 文部科学省
頸動脈プラーク不安定機構に関わるプロテオグリカンの意義とその制御	宇野昌明	脳神経外科	2,210,000	補委 文部科学省
脳動脈瘤形成と破裂および抑制における炎症性因子関与について	松原俊二	脳神経外科	1,950,000	補委 文部科学省
高血糖が吸入麻酔薬による心筋保護効果を抑制するメカニズム	田中克哉	麻酔科	1,820,000	補委 文部科学省
心筋虚血時に細胞外に蓄積するKイオンは、細胞内Caイオンの上昇を抑制するか	大下修造	麻酔科	1,430,000	補委 文部科学省
泌尿器癌の集学的治療におけるガレクチン-3の応用	福森知治	泌尿器科	130,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
前庭性嘔吐反射中枢の昨日地図の解明: 動物モデルを用いた研究	武田憲昭	耳鼻咽喉科	2,210,000	補委 文部科学省
生体内組織工学における血管柄付き再生 脂肪の研究-1再生脂肪細胞の由来を確 かめる	橋本一郎	形成外科	1,690,000	補委 文部科学省
フッ化ジアミンシリケートによる齲蝕予防と 象牙質知覚過敏症治療剤への臨床応用	菅 俊行	歯科	1,170,000	補委 文部科学省
総義歯の咬合様式選択のためのガイドライ ンの構築	永尾 寛	歯科	650,000	補委 文部科学省
高溶解性ベクトルリン酸カルシウムセメント の創製	河野文昭	歯科	1,300,000	補委 文部科学省
VEGFに対する分子標的薬とプロテアソーム 阻害剤を用いた口腔癌の新規治療法の 開発	玉谷哲也	歯科口腔外科	1,300,000	補委 文部科学省
リン酸カルシウム置換処理による機能性ベ クトルマテリアルの開発	堀内信也	矯正歯科	1,300,000	補委 文部科学省
歯根膜細胞におけるRhoファミリータンパク 質RhoEの細胞骨格制御機構の解明	木内奈央	矯正歯科	1,040,000	補委 文部科学省
歯周組織のロバストネスに視点を置いた歯 周病予防法の研究	木戸淳一	歯科	1,820,000	補委 文部科学省
細胞接着因子のコーティングによる小口径 脱細胞化グラフトの細胞化に関する研究	神原 保	心臓血管外科	2,340,000	補委 文部科学省
気管支喘息の慢性気道炎症の病態解明と その制御	吾妻雅彦	内科	1,430,000	補委 文部科学省
脂質ラフト構造を標的とした多発性骨髄腫 の新規治療法の開発	尾崎修治	内科	1,950,000	補委 文部科学省
小児難治性糸球体腎炎におけるHic-5 の役割解明	近藤秀治	小児科	2,340,000	補委 文部科学省
小児進行性腎疾患における活性酸素種 (ROS)の役割解明とその治療応用	香美祥二	小児科	2,340,000	補委 文部科学省
高磁場MRSと多チャンネルNIRSを用い た強迫性障害の薬物応答性予測に関する 研究	住谷さつき	精神科神経科	2,080,000	補委 文部科学省
骨髄単核球細胞移植による肺血管新生機 序解明に関する研究	吉田 誉	心臓血管外科	1,560,000	補委 文部科学省
豚を用いた胎仔肺移植の検討-特に気管 支鏡下経気道的投与の可能性を探る-	先山正二	外科	1,430,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳動脈瘤形成におけるタイトジャンクション蛋白の関与について	中島教夫	脳神経外科	2,210,000	補委 文部科学省
長管骨長径成長における新たな制御機序の解明	高田信二郎	整形外科	1,950,000	補委 文部科学省
再生医療における県完新世は麻酔薬及び周術期管理法に影響されるのか?	川人伸次	麻酔科	3,510,000	補委 文部科学省
癌増殖、浸潤、転移におけるActinin4系の分子機構について	中達弘能	泌尿器科	1,950,000	補委 文部科学省
多嚢胞性卵巣症候群の診断精度の向上に関する検討	苛原 稔	産科婦人科	1,950,000	補委 文部科学省
3T-MRを用いた顎関節筋動態機能診断法の開発に関する研究	岩崎裕一	歯科	3,990,000	補委 文部科学省
歯髄保存療法への緑茶カテキン応用に関する研究	中西 正	歯科	2,340,000	補委 文部科学省
根面齲蝕の病態・病因の解析に基づく新しい診断法と治療法の開発	松尾敬志	歯科	2,600,000	補委 文部科学省
エリスリトールを落ちいた新しく安全な義歯洗浄剤の開発	柏原稔也	歯科	2,990,000	補委 文部科学省
プラズマイオン注入・成膜法によるアクリルレジン床の表面改質に関する研究	有田憲司	小児歯科	2,080,000	補委 文部科学省
腫瘍壊死因子とアクアポリン5を分子標的としたシェーグレン症候群の新規治療法の開発	茂木勝美	歯科口腔外科	1,820,000	補委 文部科学省
NF- $\kappa$ B依存型分子プロファイリングによる口腔癌特異的バイオマーカーの探索	東 雅之	歯科口腔外科	2,860,000	補委 文部科学省
ペリオスチンの機能解除-骨芽細胞及び歯根膜線維芽細胞における抗アポトーシス作用-	北瀬由紀子	矯正歯科	2,250,000	補委 文部科学省
矯正用非磁性体金属の開発	菅田栄一	歯科	100,000	補委 文部科学省
不死化歯由来細胞株と生体内吸収性材料を用いた歯の再生医療用スキュフォールドの開発	宮本洋二	歯科口腔外科	100,000	補委 文部科学省
細胞との冬眠タンパク誘導を利用した新たな肝保存装置の開発	島田光生	外科	140,000	補委 文部科学省
歯髄細胞におけるオスモティックストレスと硬組織形成能に関する細胞生物学的解析	永田俊彦	歯科	140,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エレクトロクロミック材料を用いた簡便なブラキシズム診断用電極	西川啓介	歯科	1,900,000	補 委 文部科学省
口腔扁平上皮癌幹細胞の同定とその表現形質の解析	尾上富太郎	歯科口腔外科	1,703,000	補 委 文部科学省
OK-432により誘導されるIFN- $\gamma$ 産生を抑制する口腔癌分泌物質の同定	佐々井明子	歯科口腔外科	1,729,000	補 委 文部科学省
成長因子の骨端持続注入による骨成長促進法	安井夏生	整形外科	5,000,000	補 委 財団法人上原記念生命科学財団
日本人における腰椎分離症の実態と発育期スポーツの影響	安井夏生	整形外科	12,000,000	補 委 社団法人日本整形外科学会
脂肪組織から分離した間葉系幹細胞と低結晶性炭酸アパタイトを用いた歯再生医療の開発	永井宏和	歯科口腔外科	1,000,000	補 委 文部科学省
アジアにおける先天性多数歯欠損に関する遺伝学的調査	三留雅人	小児歯科	100,000	補 委 文部科学省
希少資源リンの高度化利用に向けた新規リン戦略法	有田憲司	小児歯科	1,400,000	補 委 文部科学省
高機能・高強度な新規アパタイトガラスアイオノマーセメントの開発	有田憲司	小児歯科	26,000,000	補 委 科学技術振興機構
新しい抗ヘルペス薬の開発	内藤 毅	眼科	500,000	補 委 徳島アイバンク
加齢に伴う腎機能低下の原因としての細胞老化促進機構の解明	安部秀斉	腎臓内科	800,000	補 委 三井住友海上福祉財団
メタボリックシンドローム糖尿病性腎症発症におけるBMP4/Smad1シグナル系の役割の解明と新規治療ターゲットとしての評価	美馬 晶	腎臓内科	1,500,000	補 委 財団法人東京生化学研究会
小児慢性腎疾患の改善のための抗酸化食品の研究開発	近藤秀治	小児科	600,000	補 委 森永奉仕会
				計 99

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸部外科	高度粥状硬化を伴った大動脈解離手術の1例	加納正志	心臓血管外科
日本外科学会雑誌	心臓血管外科の最新治療先天性心疾患	北川哲也	心臓血管外科
日本心臓血管外科学会雑誌	腎移植は尿毒症性心の低心機能を著明に改善する	中山泰介	心臓血管外科
Arch Orthtop Trauma Surg,126(9)	High tibial osteotomy for osteoarthritis of the knee with varus deformity utilizing the hemicallotasis method.	Yasui Natsuo	整形外科
Int Orthop,32(3)	Continuous infusion of insulin-like growth factor- I into the epiphysis of the tibia.	Yasui Natsuo	整形外科
Bone,42(1)	Continuous local infusion of fibroblast growth factor-2 enhances consolidation of the bone segment lengthened by distraction osteogenesis in rabbit experiment.	Yasui Natsuo	整形外科
bone,44(5)	Optimal increase in bone mass by continuous local infusion of alendronate during distruction osteogenesis in rabbits.	Yasui Natsuo	整形外科
J Neurosurge Spine,10(5)	Minimally invasive echnique for dirrect repair of parsinterarticularis defects in adults using a percutaneous pedicle screw and hook-rod system.	Sairyo Koichi	整形外科
Neuroscience Letters 444:250-253	Neuroal differentiation of EGF-propagated neurosphere cells after englafment to the nucleus of the solitary tract.	Masato Mitome	小児菌科
臨床眼科	25ゲージ硝子体手術でのインフュージョン位置置換	松下新悟	眼科
The J Med Invest	Long-term outcome of vitrectomy for an idiopathic macular hole peefomed with the use of indocyanine green	竹林 優	眼科
The J Med Invest	Efficacy of sub-Tenon's capsule infection of triamcinolone acetonide for refractory diabetic macular edema after vitrectomy	佐藤寛之	眼科
The J Med Invest	The prognosis of cases with massive subretinal hemorrhage after photodynamic therapy	松下新悟	眼科
The J Med Invest	Results of submacular surgery to remove diabetic submacular hard exudates	内藤 毅	眼科
The J Med Invest	Analyses of the characteristics of potential and cross-talk at each electrode in electro-oculogram	四宮加容	眼科
J clin Microb	High-level Fluoroquinolone Resistance in Ophthalmic clinical Isolate Belonging to the Species Corynebacterium macginleyi	江口 洋	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Skin Research and Technology	Derivation and clinical application special imaging by means of digital cameras ando Image J freeware guantification of erythema and pigmentation	山本忠正	皮膚科
Molecular Biology of the cell	The Interaction of JRAB/MICAL-L2 with Rab8 and Rab13 Coordinates the Assembly of Tight Junctions and Adherens Junction	山村里恵	皮膚科
Am J Physiol renal physiol	Dietary doses of nitrite restore the circulating nitric oxide level and improve renal injury in L-NAME-induced hypertensive rats.	Kagami S	小児科
Dev Dynamic	Rescue of Renal hypoplasia and systic dysplasia in bcl-2 <sup>-/-</sup> mice expressing bcl-2 in ureteric bud derived epithelia.	Kondo S	小児科
Am J Physiol Cell Phys	Attenuation of retinal endothelial cell migration and capillary morphogenesis in the absence of bcl-2	Kondo S	小児科
Pediatr Nephrol	Glomerular Angiotensinogen Protein is Enhanced in Pediatric IgA Nephropathy.	Takamatsu M	小児科
Am J Transplant	Increase of integrin-linked kinase activity in cultures podocytes upon stimulation with recurrent FSGS.	Kagami S	小児科
Kidney Int	Stteroid-resistant nephrotic syndrome.	Kitamura A	小児科
Pediatr Transplant	Clinical features and mutational survey of NPHS2(podocin) in Japanese children with foval segmental glomerulosclerosis who underwent renal transplantation.	Kitamura A	小児科
Hypertems Res	Possile involvement of rho-kinase in aldosterone-induced vascular smooth muscle cell remodeling.	Kagami S	小児科
Biochem Biophys Res Commun	Insulin-like growth factor- I inhibits rat arterial K(ATP) channels through p I 3-kinase.	Hayabuchi Y	小児科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Rare venous connection causing severe hypoxia arter Fontan operation.	Hayabuchi Y	小児科
J Echocardiography	Sefmental Myocardial strain of the left ventricle in patients with Duchenne muscular dystrophy using two-dimensional speckle tracking echocardiography.	Miyazaki T	小児科
Pediatr Int.	Pathophysiology of the transient temporal lobe lesion in a patient with Menkes disease.	Ito H	小児科
Brain Dev	Serial barain imaging analysis of stroke-like episodes in MELAS.	Ito H	小児科
J Autism Dev Disord	Growth of head circumference in autistic infants during the first year of life.	Fukumoto A	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児科学会雑誌	微小変化型ネフローゼ症候群を合併した木村氏病1例	須賀健一	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌	両側多嚢胞性異形成腎の1例	須賀健一	小児科
外来小児科	5歳児健診担当医の経験-地域の開業小児科医が軽度発達障害児にできること-	宮崎正仁	小児科
脳と発達	Rett症候群における神経放射線学的検討	津田芳見	小児科
国立医療学会誌 医療	長期入院重症心身障害児・者の口腔内状況	有田 憲司	小児歯科
Journal of Biomedical Materials Research	Biomechanical response of condylar cartilage-on-bone to dynamic shear	Eiji Tanaka	矯正歯科
Archives of Oral Biology	Cementoblast response to low- and high-intensity ultrasound	Eiji Tanaka	矯正歯科
Journal of Dental Research	Degenerative disorders of the temporomandibular joint: etiology, diagnosis, and treatment	Eiji Tanaka	矯正歯科
Molecular Microbiology	The essentiality and involvement of Streptococcus intermedius histone-like DNA-binding protein in bacterial viability and normal growth	Shizuo Kayama	歯科
Clinical and Experimental Immunology	Adrenomedullin suppresses tumour necrosis factor alpha-induced CXC chemokine ligand 10 production by human	Yoshitaka Hosokawa	歯科
日本顎関節学会雑誌	下顎枝垂直骨切り術と下顎枝矢状分割術を併用した外科的矯正治療後に下顎頭のモデリングを認めた一症例	井澤 俊	矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌	過去20年間に徳島大学医学部・歯学部附属病院矯正歯科に来院した開咬患者の実態調査	木内 奈央	矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌	ミニスクリューを使用して治療を行った叢生を伴うアングルⅡ級成人症例	黒田 晋吾	矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌	下顎枝垂直骨切り術を行った上顎両側側切歯矮小歯を伴う骨格性下顎前突症例	黒田 晋吾	矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌	エナメル質形成不全を伴う空隙歯列症例の一治験例	藤原 慎視	矯正歯科
日本補綴歯科学会雑誌	下顎両側遊離端欠損にコーヌステレスコープ義歯を用いた1症例	山内 英嗣	総合歯科
小児歯科学会雑誌	全国29歯科大学・大学歯学部における小児歯科学教育の実態	有田 憲司	小児歯科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内視鏡	内視鏡分子イメージング	六車 直樹	消化器内科
BIODEVICES 2009	Surface Modification of Dental Devices	Shinonaga Yukari	小児歯科
四国歯学会雑誌	顎関節の潤滑機能	田中 栄二	矯正歯科
American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics (AJODO)	Evaluation of esthetic brackets' resistance to torsional forces from the archwire	Eiji Tanaka	矯正歯科
The Angle Orthodontist	Distal movement of maxillary molars using miniscrew anchorage in the buccal interradiacular region	Shingo Kuroda	矯正歯科
American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics	Influence of anteroposterior mandibular positions on facial attractiveness in Japanese adults	Shingo Kuroda	矯正歯科
Diabetes	urinary Smad1 is a novel marker to predict later onset of mesangial matrix expansion in diabetic nephropathy	Akira Mima	腎臓内科
Diabetes Res Clin Pract	The current clinical problems for early phase of diabetic nephropathy and approach for pathogenesis of diabetic	Akira Mima	腎臓内科
Kidney Int	Steroid Resistant Nephrotic Syndrome	Yasuhiro Tsukaguchi	腎臓内科
口腔衛生学会雑誌	徳島大学病院ICUにおける歯科専門職による口腔ケアの取り組み	横山 正明	口腔管理センター

計 59

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たらないよう審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## (様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 香川 征		
管理担当者氏名	・総務課長 ・手術部長 ・看護部長	小西 竹生 永廣 信治 木田 菊恵	・医事課長 田村 和彦 ・薬剤部長 水口 和生 ・放射線部長 西谷 弘

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各診療科（部）で保管	各診療科（部）で保管している。（なお、カルテについては、一部電子カルテシステム、診療録管理室にて管理しているものもある。）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	文書ファイルで保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課， 医事課	
	閲覧実績	総務課， 医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課， 薬剤部	
確規保則の第9条及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	文書ファイルで保管している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
規則第1条の11号各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	文書ファイルで保管している。
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	
	医薬品の使用に係る安全な管理の為の責任者の配置状況	医事課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医事課, 薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課, 薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME 管理センター	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 管理センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 管理センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME 管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 山本 隆 司
閲覧担当者氏名	総務課長 小西 竹 生
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.2 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			15,099 人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,613 人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			258 人
D: 初診の患者の数			22,002 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 2名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 2 ) 名 兼任 ( 5 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本院において発生した医療上の事故等の原因究明、調査、分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。</li> <li>(2) 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。</li> <li>(3) 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。</li> <li>(4) 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。</li> <li>(5) 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。</li> <li>(6) 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。</li> <li>(7) インシデント報告の管理に関すること。</li> <li>(8) リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存、その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。</li> <li>(9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(10) 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(11) 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(12) その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島大学医学部・歯学部附属病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</li> <li>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</li> <li>(1) 用語の定義</li> <li>(2) 安全に管理に関する基本的考え方</li> <li>(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li> <li>(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li> <li>(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li> <li>(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針</li> <li>(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 6 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>リスクマネジメント委員会（月1回、臨時3回）</li> <li>(1) 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。</li> <li>(2) 医療上の事故等発生時の対応に関すること。</li> <li>(3) 医薬品の安全使用に関すること。</li> <li>(4) 医療機器の安全使用に関すること。</li> <li>(5) その他医療上の事故等に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	

リスクマネジメント部門会議（全体・分析・評価 各月1回）  
 次の各号に掲げる事項について、調査、分析及び提言を行う。

- (1) 直面したインシデントの内容
- (2) インシデント報告に基づく事故レベルの検証
- (3) インシデントの発生原因及び防止策
- (4) インシデントに対し講ずべき改善措置
- (5) 前号の改善措置の評価
- (6) その他医療上の事故に関する事項

リスクマネージャー連絡会（月1回）

- (1) 医療現場での安全管理意識の維持と医療上の事故等防止対策の周知徹底を図ること。
- (2) 所属の医療現場において、医療行為がマニュアルに準じて適切に実施されているかを常に確認し、指導すること。
- (3) 医療現場からのインシデントの予防方策を提言すること。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 9 回

・ 研修の主な内容：

- (1) 「いま患者が望む医療とは」
- (2) 「部署で取り組んだ安全行動への取り組みの評価と今後の課題について」  
「医薬品の適正な管理と使用」
- (3) 「医療安全対策を考える」
- (4) 「安全な MRI 検査を行うための注意点」
- (5) 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて
- (6) 縫合実習
- (7) 胸腔ドレーンの管理について
- (8) インフォームドコンセントについて
- (9) 人工呼吸器の管理について

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （  有 ・  無 ）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - (1) インスリン名の記載間違いを防止するようインスリンガイドラインの改定を行い、電子カルテの掲示板に掲載した。
  - (2) 安全管理対策室リスクマネジメント部門への看護師（専任マネージャー、8時間）1名の配置が、新規事業として認められた。
  - (3) 手術・治療・検査等の説明と同意手続きフローを作成し、同意をとる方法を明確にした。
  - (4) 電子カルテにおける記載内容の訂正方法を明確にし、マニュアルを修正した。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：          徳島大学医学部・歯学部附属病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができ環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 用語の定義</li> <li>(2) 安全管理に関する基本的考え方</li> <li>(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本事項</li> <li>(4) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li> <li>(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>(7) 患者等からの相談および苦情等への対応に関する基本方針</li> <li>(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 38 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会（毎月1回、臨時1回、持ち回り1回）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内感染の予防及び対策に関すること。</li> <li>(2) 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。</li> <li>(3) 院内感染発生時の措置に関すること。</li> <li>(4) 職員の院内感染の教育に関すること。</li> <li>(5) 安全管理対策室感染対策部門の運営に関すること。</li> <li>(6) その他院内感染に関すること。</li> </ol> <p>感染対策部門会議（毎月1回）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内における感染症対策及びその指導に関すること。</li> <li>(2) 抗菌薬の適正使用の推進に関すること。</li> <li>(3) 感染症サーベイランス施行に関すること。</li> <li>(4) 職員に対する感染症の教育及び啓発に関すること。</li> <li>(5) 感染症に関する院内及び院外への広報及び他の医療機関との情報提供に関すること。</li> <li>(6) 感染症一般の情報管理に関すること。</li> <li>(7) その他院内感染防止対策に関すること。</li> </ol> <p>ICマネージャー連絡会（月1回）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 所属部署において院内感染対策の周知徹底を行い、その見直しについて提言すること。</li> <li>(2) 所属部署における感染情報を把握し、院内感染対策を実施し、指導すること。</li> </ol>	
③ 従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 標準予防策と感染経路別予防策</li> <li>2) 新型インフルエンザのパンデミックに備えた医療機関の対応について</li> <li>3) 部署で取り組んだ安全行動への取り組みの評価と今後の課題について</li> <li>4) 当院における特定抗菌薬の使用届出</li> <li>5) 当院における針刺し事故防止</li> <li>6) 標準予防策と手洗い</li> <li>7) 当院における結核感染防止</li> <li>8) 当院における手術部位感染防止</li> </ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

( 有・無 )

  - (1) 院内感染対策マニュアルに細菌感染発生時の対応・感染予防策抗菌剤の適正使用などについて明記しており、そのマニュアルの順守状況についてラウンドなどでチェック評価を行っている。今年度6月より ICN が2名となり毎週1回 ICN による病棟ラウンドを追加して実施している。
  - (2) MRSA などの耐性菌検出時には、検査部から感染対策部門へ連絡があり、感染対策看護師長が細菌警告書により発生部署へ説明・指導を行っている。必要時には ICT が介入する。1部署で2例以上問題のある菌が発生した場合は遺伝子分析を行い評価する。
  - (3) 院内感染管理認定コース研修プログラムのカリキュラムを見直し、11月より開始予定である。リンクナースを増員し、感染対策の強化を図っている。
  - (4) 抗菌薬の適正使用のため、14日以上使用しているすべての抗菌薬について投与理由書の提出や抗MRSA薬使用時のTDM実施を義務付けている。



医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：           <ul style="list-style-type: none"> <li>処方上の注意点、医薬品の適正な管理方法、麻薬の取り扱い方法</li> <li>薬剤に関する重大な医療事故防止のための注意点</li> <li>健康被害救済制度、副作用報告制度の説明</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (○有・無)</li> <li>・ 業務の主な内容：           <ul style="list-style-type: none"> <li>各種薬剤業務、病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し、不備な点を指摘し改善している。</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用をに目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無)</li> <li>・ そのほかの改善のための方策の主な内容：           <ul style="list-style-type: none"> <li>全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め、病棟における医薬品の管理体制を整備した。</li> </ul> </li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年5回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> </ul> <p>看護師、研修医、コメディカルを対象に「輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、ベッドサイドモニター、除細動器、パルスオキシメーターなど」について実施している。内容は、研修会場に機器を持ち込み実際の事故事例を挙げながらアラームの理解と対処方法を実技形式で開催している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の策定 (有)・無)</li> <li>・ 保守点検の小野な内容：</li> <li>  定期保守点検（メーカー指定期間による）、プリベンティブメンテナンス、機器のオーバーホールを機器販売メーカーへ依頼し実施している。</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>  医療機器の添付文書、機器製造販売メーカーからの機器情報および厚生労働省医薬品食品局の「医薬品、医療機器等安全情報」配信サービスに登録し、情報収集している。</li> </ul>	